

大学の世界展開力強化事業

基本情報

組織情報	府省庁	文部科学省				
	事業所管課室	文部科学省 高等教育局 参事官 国際交流係				
	作成責任者	佐藤邦明				
	その他担当組織	文部科学省 高等教育局 参事官 調整係 文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 管理係 文部科学省 高等教育局 参事官 文部科学省 高等教育局 高等教育企画課				
基本情報	予算事業ID	001577	事業開始年度	2011	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2024	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	文部科学省	4個性が輝く高等教育の振興	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上		https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf	
関連事業	--	主要経費		教育振興助成費		

概要・目的	事業の目的	世界的に学生の交流規模が拡大する中において、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援することで、大学教育のグローバル展開力や人材育成力の強化を図る。				
	現状・課題	国境を越えた大学間競争が激化する一方で、国際的な連携・協力や、高等教育システムの調和を基礎とした国際協力が進展している中、以下のような課題が指摘されている。 【社会課題解決をリードするグローバル人材の不足】 海外経験のある学生が他国と比較して少ない／日本人の国際対応力が低い 【我が国の国際競争力の低下】 日本人学生の海外留学数と外国人留学生割合が他国と比較して低い				
	事業の概要	○国毎の高等教育制度の相違を越え、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を行う教育交流プログラムの開発・実施を行う大学を支援し、日本人学生の海外派遣と外国人学生の受入を促進。 ○平成23年度に「キャンパス・アジア中核拠点形成支援」と「米国大学等との協働教育創成支援」を、平成24年度に「ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」を、平成25年度より「海外との戦略的高等教育連携支援（欧州・AIMS）」を、平成26年度に「ロシア、インド等との大学間交流形成支援」（平成29年度に拡充）を、平成27年度に「中南米等との大学間交流形成支援」を、平成28年度に「アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化」を、平成30年度に「COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援」、令和元年度に「日-EU戦略的高等教育連携支援」を、令和2年度に「アフリカ諸国との大学間交流形成支援」を、令和3年度に「アジア高等教育共同体（仮称）形成促進」を、令和4年度に「インド太平洋地域との大学間交流支援」を、令和5年度に「米国等との大学間交流形成支援」を開始。 ○公募により、国公立大学を通じて競争的に選定、重点的な財政支援を行う。支援期間は原則5年間。				
	事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/sekaienkai/				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	--	--	--	--	--	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/saikou_jpn.pdf				
	「留学生30万人計画」骨子（平成20年7月29日）	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1420758.htm				
	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ」（令和5年4月27日教育未来創造会議第二次提言）	https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/dai6/siryou1-1.pdf				
	「第4期教育振興基本計画」(令和5年6月16日閣議決定)	https://www.mext.go.jp/content/20230615-mxt_soseisk02-10000597_01.pdf				
補助率	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL		
	大学等	補助期間終了後は自立的に事業を継続することを前提に、補助期間最終年度へ向け補助額の逓減を予定。	--	--		
実施方法	補助					

備考	担当部局: 高等教育局 担当課室: 参事官 (国際担当) 作成責任者: 参事官 (国際担当) 佐藤 邦明 政策: 4 個性が輝く高等教育の振興 施策: 4-1 大学などにおける教育研究の質の向上 URL: https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf
----	---

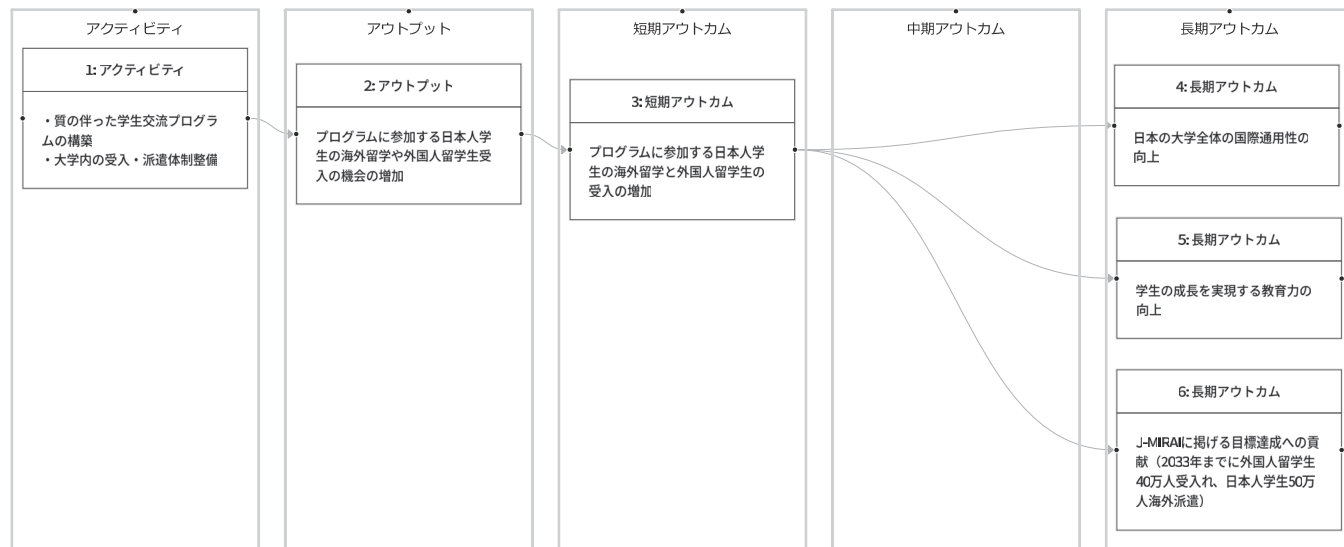
予算・執行

予算額執行額表 (単位: 千円)	2021	2022	2023	2024	2025
要求額	—	1,281,200	1,801,200	2,170,000	—
当初予算	1,006,800	1,055,200	1,347,700	1,334,245	—
補正予算	—	—	1,028,140	—	—
前年度から繰越し	79,700	170,000	49,000	1,057,110	—
予備費等	△31,000	—	—	—	—
計	1,055,500	1,225,200	2,424,840	2,391,355	0
執行額	828,000	1,153,000	1,278,952	—	—
執行率	78.4%	94.1%	52.7%	—	—

予算内訳表 (単位: 千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	予算額	翌年度要求額
		予算種別/歳出予算項目		備考		
		当初予算				
		一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 高等教育振興費 / 国際化拠点整備事業費補助金		—	1,333,245	—
		当初予算				
		一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 高等教育振興費 / 職員旅費		—	700	—
		当初予算				
		一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 高等教育振興費 / 委員等旅費		—	400	—
		当初予算				
		一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 高等教育振興費 / 庁費		—	100	—
		当初予算				
		一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 高等教育振興費 / 諸謝金		—	60	—
		当初予算				
		高等教育振興費 その他		—	△260	—
		前年度から繰越し		—	1,057,110	—
		—				
主な増減理由	--			その他特記事項	—	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 1-2-3-4

アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> 質の伴った学生交流プログラムの構築 大学内の受入・派遣体制整備 			
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	プログラムに参加する日本人学生の海外留学や外国人留学生受入の機会の増加	活動指標	交流プログラムの件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	-	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	-	アウトカムを複数段階で設定できない理由	-
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度
	当初見込み/目標値(件)	-	-	-
	活動実績/成果実績(件)	52	45	58
↓ 後続アウトカムへのつながり	交流プログラムの件数が増加することで、日本人学生の海外留学や外国人留学生受入の機会が増加し、結果的に、実際に留学する日本人学生や受け入れる外国人留学生の数の増加に繋がる。			
短期アウトカム	成果目標	プログラムに参加する日本人学生の海外留学と外国人留学生の受入の増加	成果指標	採択プログラムにおける日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受入数の合計
	定性的なアウトカムに関する成果実績	-	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名 (出典)	採択大学へのフォローアップなどによる文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	-	アウトカムを複数段階で設定できない理由	-
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	目標年度 2023年度
	当初見込み/目標値(人)	2,845	2,980	7,487
	活動実績/成果実績(人)	4,392	6,806	-
	達成率(%)	154.4	228.4	-
↓ 後続アウトカムへのつながり	プログラムに参加する日本人学生の海外留学と外国人留学生の受入が増加することで、採択大学全体、長期的には日本の大学全体に、質の伴った交流プログラムの促進が波及する。学生の受入や派遣の基盤となる交流プログラムの構築や環境整備の結果、国際通用性の向上に繋がる。			

長期アウトカム	成果目標	日本の大学全体の国際通用性の向上	成果指標	大学間交流協定に基づく単位互換を実施する大学数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	-	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)	大学における教育内容等の改革状況について https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/005.htm	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	学生交流プログラムが活発化するには、その基盤として学生や教職員の国際対応力が備わっていることに加え、交換留学プログラムの実施において、単位互換にかかる学内プロセスの整備が一層重要となる。具体的には、その整備において、各種ルールや慣行を世界各国・地域と調和させるプロセスや、相手大学との成績評価及び単位認定の基準の調整、自大学における英語による授業の設置等が必要であり、そういった過程の積み重ねによって、大学の国際通用性の向上へと繋がる。 このような学生交流プログラムの構築や体制整備を基盤とした質保証を伴った学生交流の実現によって、長期的には日本の大学全体に国際通用性が波及するものと見込んでいる。直接的な定量的な指標の設定が困難であるため、定性的な指標を設定している。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	-	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	最終目標年度 2024年度
	当初見込み/目標値(校)	-	-	-	419
	活動実績/成果実績(校)	432	-	-	-
	達成率(%)	-	-	-	-

アクティビティからの発現経路 1-2-3-5

アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> 質の伴った学生交流プログラムの構築 大学内の受入・派遣体制整備 				
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	プログラムに参加する日本人学生の海外留学や外国人留学生受入の機会の増加	活動指標	交流プログラムの件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	-	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)	-	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	-	アウトカムを複数段階で設定できない理由	-	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	
	当初見込み/目標値(件)	-	-	-	
	活動実績/成果実績(件)	52	45	58	
↓ 後続アウトカムへのつながり	交流プログラムの件数が増加することで、日本人学生の海外留学や外国人留学生受入の機会が増加し、結果的に、実際に留学する日本人学生や受け入れる外国人留学生の数の増加に繋がる。				
短期アウトカム	成果目標	プログラムに参加する日本人学生の海外留学と外国人留学生の受入の増加	成果指標	採択プログラムにおける日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受入数の合計	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	-	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)	採択大学へのフォローアップなどによる文部科学省調べ	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	-	アウトカムを複数段階で設定できない理由	-	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	目標年度 2023年度	
	当初見込み/目標値(人)	2,845	2,980	7,487	
	活動実績/成果実績(人)	4,392	6,806	-	
	達成率(%)	154.4	228.4	-	
↓ 後続アウトカムへのつながり	プログラムに参加する日本人学生の海外留学と外国人留学生の受入が増加することで、日本人学生の外国語力の向上に繋がる。そして、外国語能力の向上は、学生の成長を促す要素の一つであり、教育力の向上に貢献する。				

長期アウトカム	成果目標	学生の成長を実現する教育力の向上	成果指標	一定の外国語力基準に関する目標値を達成する大学の割合
	定性的なアウトカムに関する成果実績	—	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）	採択大学へのフォローアップなどによる文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	—	アウトカムを複数段階で設定できない理由	—
活動・成果目標と実績	当初見込み／目標値(割)			
	活動実績／成果実績(割)			
	達成率(%)			

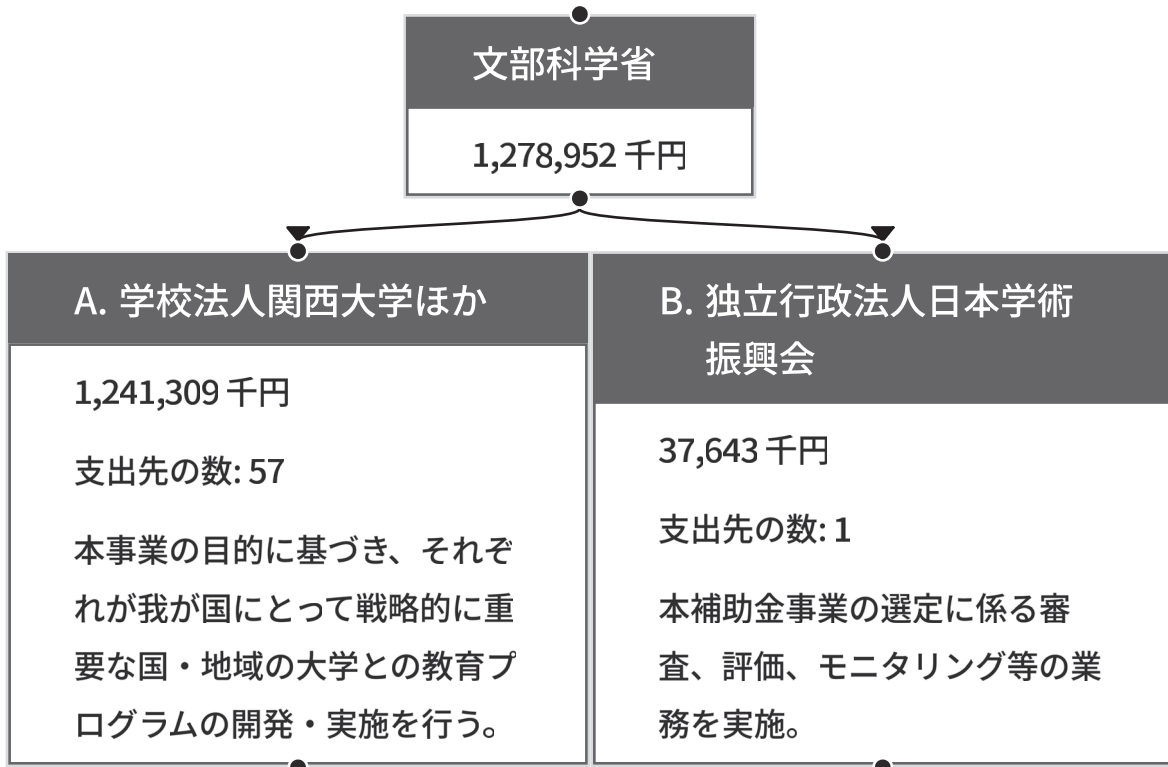
アクティビティからの発現経路 1-2-3-6

アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> 質の伴った学生交流プログラムの構築 大学内の受入・派遣体制整備 			
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	プログラムに参加する日本人学生の海外留学や外国人留学生受入の機会の増加	活動指標	交流プログラムの件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	—	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）	—
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	—	アウトカムを複数段階で設定できない理由	—
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度
	当初見込み／目標値(件)	—	—	—
	活動実績／成果実績(件)	52	45	58
↓ 後続アウトカムへのつながり	交流プログラムの件数が増加することで、日本人学生の海外留学や外国人留学生受入の機会が増加し、結果的に、実際に留学する日本人学生や受け入れる外国人留学生の数の増加に繋がる。			
短期アウトカム	成果目標	プログラムに参加する日本人学生の海外留学と外国人留学生の受入の増加	成果指標	採択プログラムにおける日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受入数の合計
	定性的なアウトカムに関する成果実績	—	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）	採択大学へのフォローアップなどによる文部科学省調べ
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	—	アウトカムを複数段階で設定できない理由	—
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	目標年度 2023年度
	当初見込み／目標値(人)	2,845	2,980	7,487
	活動実績／成果実績(人)	4,392	6,806	—
	達成率(%)	154.4	228.4	—
↓ 後続アウトカムへのつながり	プログラムに参加する日本人学生の海外留学と外国人留学生の受入が増加することで、2033年までに外国人留学生40万人受入れ、日本人学生50万人海外派遣という目標達成に貢献する。			

長期アウトカム	成果目標	J-MIRAIに掲げる目標達成への貢献（2033年までに外国人留学生40万人受入れ、日本人学生50万人海外派遣）		成果指標	日本人の海外留学生数と外国人留学生受入数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	-		成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名（出典）	外国人留学生在籍状況調査（JASSO） https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/enrollment/ 日本人学生留学状況調査（JASSO） https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/japanese-students/
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	-		アウトカムを複数段階で設定できない理由	-
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	最終目標年度 2024年度
	当初見込み/目標値()	-	-	-	579,400
	活動実績/成果実績()	293,847	294,555	-	-
	達成率(%)	-	-	-	-
事業に関連するKPIが定められている 閣議決定等	名前	-			
	URL	-			
	該当箇所	-			

点検・評価

事業所管部局による 点検・改善	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 令和5年度は、米国との大学間交流形成支援として13件のプログラムを新たに採択し、質の保証を伴った国際教育連携の推進に取り組んでいる。 令和5年度の執行率が低いことに関しては、令和5年度補正予算について年度末での交付決定となったものであるため全額を翌年度繰越しとしたことから、例年に比べ、執行率が極端に低くなっている。具体的には、約10億円全額の執行を令和6年度に繰越しているところであるが、令和5年度当初予算のみの執行率については、91.6%となる。 			
	目標年度における効果測定に関する評価	-			
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後、採択大学における学生交流プログラムの好事例を全国の大学に波及させ、海外の大学との大学間交流を促進し、質の保証を伴った国際教育連携を推進する。 令和5年度補正予算については、計画的に年度内の執行を進める。 			
外部有識者による 点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	-	
	対象の理由	-			
	所見	-			
	公開プロセス結果概要	-			
行政事業レビュー 推進チームの所見 に至る過程及び所見	所見	-	詳細	-	
所見を踏まえた改善点/概算要求における 反映状況	改善点・反映状況	-			
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)	
	詳細	-	-	-	
公開プロセス・秋の 年次公開検証（秋のレビュー） における取りまとめ	--				
その他の指摘事項	--				



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A 学校法人関西大学ほか	1,241,309	57	本事業の目的に基づき、それぞれが我が国にとって戦略的に重要な国・地域の大学との教育プログラムの開発・実施を行う。		
	支出先名	支出額	法人番号			
	学校法人関西大学	165,700	6120905001356			
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由	
	Blended Mobility Project (BMX) で生み出す「Society5.0人材」の育成とそのインフラの創出 補助金等交付	165,700	0	0	--	
	支出先名	支出額	法人番号			
	国立大学法人京都大学	35,632	3130005005532			
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由	
	アフリカにおけるSDGsに向けた高度イノベーション人材育成のための国際連携教育プログラム 補助金等交付	35,632	0	0	--	
	支出先名	支出額	法人番号			
	国立大学法人筑波大学	34,000	5050005005266			
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由	
	インクルーシブなスマートソサエティを創成する国際スタートアップ人材の育成 補助金等交付	34,000	0	0	--	
	支出先名	支出額	法人番号			
国立大学法人東京外国語大学	34,000	4012405001287				
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由		
太平洋を「架橋」するブリッジ・パーソン養成プログラム 補助金等交付	34,000	0	0	--		
支出先名	支出額	法人番号				

国立大学法人東京芸術大学	34,000	6010505001362		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
STEAM教育を活用した情報メディア革新時代の日米映像クリエイター育成補助金等交付	34,000	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
国立大学法人金沢大学	34,000	2220005002604		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
多層型日米連携協働教育プログラムによる次世代グローバル人材育成補助金等交付	34,000	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
国立大学法人信州大学	34,000	3100005006723		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
地域と世界を結ぶ「知」の循環：日・米・台・韓の地域からGXへ挑むグローバル人材育成事業補助金等交付	34,000	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
国立大学法人宮崎大学	34,000	1350005001593		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
地域と世界を結ぶ「知」の循環：日・米・台・韓の地域からGXへ挑むグローバル人材育成事業補助金等交付	34,000	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
国立大学法人東海国立大学機構	33,980	3180005006071		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
微分型成長を重視した分野横断型日米協創人材育成補助金等交付	33,980	0	0	--

支出先名	支出額	法人番号		
国立大学法人神戸大学	33,761	5140005004060		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
「食」を通して持続可能な世界を実現するグローバル人材育成のための異分野共修型国際プログラム補助金等交付	33,761	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
その他	768,236	-		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
その他補助金等交付	768,236	0	0	--
支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
B 独立行政法人日本学術振興会	37,643	1	本補助金事業の選定に係る審査、評価、モニタリング等の業務を実施。	
支出先名	支出額	法人番号		
独立行政法人日本学術振興会	37,643	1010005006890		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札・随契理由
審査・評価業務又は公表・普及事業補助金等交付	37,643	0	0	--

費目・使途 (単位：千円)	支出先名		契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	A	学校法人関西大学	Blended Mobility Project (BMX) で生み出す「Society5.0人材」の育成とそのインフラの創出	その他	交流学生渡航支援費用・研究拠点設置・維持等	100,260
	-	-	-	旅費	海外連携大学訪問、海外連携大学教員招聘旅費等	33,590
	-	-	-	人件費・謝金	特命准教授、事務補佐員、講師謝金等	24,750
	-	-	-	物品費	オフィス什器、教材作成ツール等	7,100
	B	独立行政法人日本学術振興会	審査・評価業務又は公表・普及事業	人件費・謝金	常勤職員、審査部会等謝金等	18,082
	-	-	-	その他	会議記録、郵送費、資料印刷費等	18,021
	-	-	-	旅費	会議出席委員旅費、現地調査旅費	1,240
	-	-	-	消耗品費	事務用消耗品	300
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名		契約額	法人番号		
	-		--	-		

その他備考

2023年度の補正予算について、年度末での交付決定となったものであるため全額を翌年度繰越しとしたことから、2023年度執行率が例年に比べ、極端に低くなっている。